

県道前橋大間々桐生線（城東町工区）電線共同溝事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

地元の声

- ・歩行者の安全確保のため、早く無電柱化を進めてほしい。（地元住民）
- ・事業区間には小学校や高校があるので、通学時の安全を確保してほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：前橋市城東町～三俣町
- 事業内容：電線共同溝 延長 1,800m
- 事業期間：平成28年度～

■ 現在の交通量：16,453台/日（自動車）
（R3年度） 136人/12h（歩行者）
883台/12h（自転車）

事業前

- ◆ 歩道上に電柱があるため、通学する学生等の通行の支障となっています。



事業前の状況

事業後

- ◆ 歩道上の電柱が無くなり、通学する児童等の安全な通行空間が確保されます。



事業後のイメージ

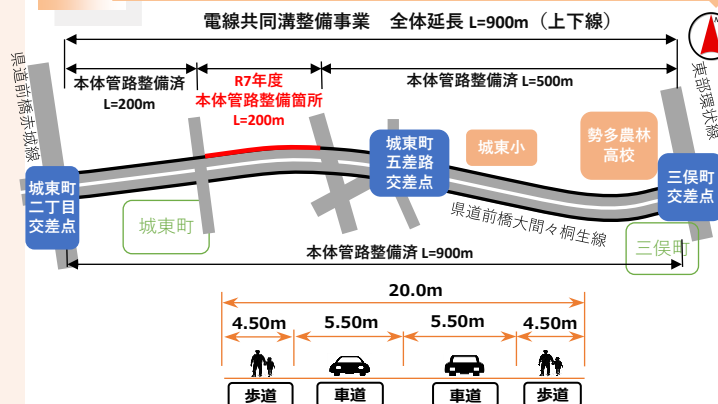
成果を示す項目	実施前
歩行空間の阻害のおそれ	あり
電柱倒壊のおそれ	あり

実施後（目標）
なし
なし

電線を地中化して
電柱を撤去します



事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は、引き続き電線共同溝の本体管路工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

事業完了 ●